

令和2年5月

大野市教育委員会臨時会
会議録

日 時：令和2年5月18日（月）午後1時30分～午後2時10分

場 所：結とぴあ 305・306号室

大野市教育委員会 5月臨時会 次第

令和2年5月18日(月)午後1時30分～
結とびあ305・306号室

1 開会

会議録署名人 關委員 馬道委員

2 付議事項

1) 学校再開に向けて

資料1

3 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員	關園子
	委員	馬道保
	委員	松谷由美
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	生涯学習課長	横井一博
	生涯学習課スポーツ振興室長	多田直人
	文化財課長補佐	林俊光
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

0人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 5 月臨時会を開会する。会議に先立ち一言申し上げます。先日、麻生委員がご逝去された。心よりお悔みを申し上げます。我々にとって非常に大きな力を失ったことを残念に思う。麻生委員は私と同年であり、これからまだまだやりたいことがあったらと想像すると言葉もない。麻生委員のご冥福をお祈りして黙とうを捧げる。

【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、關委員、馬道委員に願います。

【付議事項】

【教育長】付議事項 1) 学校再開に向けてについて、私から説明する。

——<教育長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があれば願います。

【馬道委員】子どものことを細かく考えた案だと思う。全面的に賛成する。現在分散登校を実施しているが、子どもたちは久しぶりの登校に喜んでいる。とはいえ、3カ月も休んでいたのも、急に学校を再開するというのは難しいので、段階的に学校に慣れさせるということは良いと思う。給食がなかった間、保護者の方も大変だったと思うので、6月1日から給食を再開することは良いと思う。

【教育長】馬道委員は陽明中学校で勤務しているので、登校日に子どもたちに会う機会があったと思うが、子どもたちの様子はどうかであったか。

【馬道委員】子どもたちはとても喜んでおり、早く学校に来て友達と話したり勉強したりしたいと思っている様子だった。登校日には、3、4人のグループごとにいったん体育館に集まり、グループが揃ったら教室に移動して面談を行った。教室には小人数しかいないので、密になることはなかった。じっくりと面談する時間はなかったが、宿題の説明や受け渡しと短い会話はできていた。

【關委員】学生服の子どもたちを見かけるようになり、少しずつ以前の状態に戻ってきたと感じている。分散登校という言葉は分かりにくいので、準備登校というのは分かりやすく良いと思う。準備登校の際に集団登校を行う学校があるが、そのときは全学年が登校しているのか。

【審議監】小学校低学年だと一人で道を歩かせるのは危険なので、1年生から6年生を縦割りのグループに分けて集団登校や集団下校を行う。

【**關委員**】 小学校、中学校の違い、学年の違い、学校規模の違いがあると思う。それぞれの学校に合わせて進めていってほしい。

授業時間数を確保するために、夏季休業中に授業を行うことを検討していると思うが、7月、8月は気温が高く子どもたちに負担がかかると思うので、例えば、夏季休業以外の期間に、土曜日の午前中だけ授業を行うなど臨機応変に対応を考えてほしい。

小学校の見守りボランティアの方たちに、登校日の情報が届いていない場合があり、そのような情報は見守りボランティアにも届けてほしいという話を聞いたので対応をお願いします。

【**審議監**】 登下校の見守りにご協力いただいている地域の方々には、学校から連絡するように明日の臨時校長会で依頼する。

【**教育長**】 土曜日に授業を行うとすると、スポーツ少年団の練習との兼ね合いはどうか。

【**生涯学習課長**】 スポーツ少年団の中には、土曜日の午前中や午後に練習している団がある。学校が再開となればスポーツ少年団も活動の再開を検討することになると思うが、学校が土曜日に授業を行う方針を示せばスポーツ少年団の練習時間をずらしてもらうような協力は得られると思う。そのような方針であれば、スポーツ振興室からスポーツ少年団の本部長と協議する。

【**スポーツ振興室長**】 生涯学習課長が申しあげたとおり学校が優先されるべきだと考える。スポーツ少年団とはスポーツ振興室が協議する。

【**松谷委員**】 事務局案に全面的に賛成である。私の子どもが通っている有終南小学校では、準備登校の期間に1年生を加えた縦割りグループで集団登校の練習をすると聞いている。1年生は先日初めて制服を着てランドセルを背負ったばかりで、これから集団登校することを楽しみにしていると思う。

地域の見守り隊の方には、集団登校の見守りを運動代わりにしている方や、子どもたちの心のお世話に生きがいを感じている方もいる。学校の再開を楽しみにしている方もいるので、学校が再開することで、地域の心の活性化も期待できると思う。

關委員がおっしゃった土曜日を授業に充てることには賛成である。

修学旅行や体育大会、林間学校などは、子どもたちが楽しみにしている行事であり、学年や学級の仲間意識を高める役割もあるので、できるだけ実施してほしい。

【**關委員**】 3カ月の休業により、学校に行きにくくなった子どももいると思う。そのような子どもの心のケアはどのように考えているか。

【**審議監**】 結の故郷教育相談員やスクールソーシャルワーカーは、休業中は出勤日数を抑えており、その分、学校が再開したときには、勤務時間を延ばして手厚く対応できるようになっている。

【**教育長**】 休業期間中も、担任教員は交換日記や電話連絡で子どもたちの状況を

把握している。担任教員が把握している情報を大切にしながら、相談員やスクールソーシャルワーカーともうまく連携して対応していきたい。

【松谷委員】登校日に教育長から子どもたちに手紙をいただき、保護者の中で大きな反響があった。不安に感じていた保護者も心が休まったと思う。感謝申し上げる。

【教育長】子どもたちへのメッセージでは、学校で会えるのを待っているからねということと、今、君たちが家で我慢していることがとても社会の役に立っているという感謝の気持ちを伝えたかった。保護者の方には、私たち言教育関係者が責任を持ってお預かりするということを伝えたかった。

本日中に、学校再開に向けたお知らせを保護者にお送りし、市ホームページにも掲載する。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会 5 月臨時会を閉会する。

午後 2 時 1 0 分終了

令和 2 年 6 月 2 6 日

(關委員)

(馬道委員)